

思い切ってチャレンジしてみよう！

～長い休みの活用方法～

令和8年7月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



第21回 英語スピーチ
大会 開会の挨拶

旅なればこの炎天も歩くなり (星野立子)

子供たちの活躍を紹介します。2つです。

1つ目は、6月13日(土)、第31回「庄原市小学校陸上競技記録会」を開催したことです。全校から243人が出場し、100m走をはじめ、走り幅跳びなど5種目に挑戦しました。子供たちは日頃の練習の成果を存分に発揮しました。なお、この記録会をもとに10月に行われる県民スポーツ大会に出場する選手やチームも決まりました。

2つ目は、6月14日(日)、第21回英語スピーチ大会を行ったことです。今回から小学生にも発表する機会を設定し、9校から19人が、自己紹介や好きなこと、打ち込んでいる活動への思いなどを発表しました。また、中学生はすべての学校から16人が、家族のことや故郷への思い、自分の生きがいや新たに挑戦していることなどをテーマに発表しました。

小中学生ともに、自ら進んで学習してきたことをもとに、内容をよく練り、発音にも気を付け、考えていることや思いが伝わるように堂々と発表しました。とてもよく勉強してきた様子がうかがえました。

さて、今回は「思い切ってチャレンジしてみよう！」についてです。

子供たちは、7月18日(土)から長い夏休みが始まります。自ら考え、活動できる有意義な時間が40日以上もあります。とても魅力的です。今から何をしようかとワクワクしている子供たちも多いと思います。

【子供たちがチャレンジしたいこと(具体例)】

- 泳力を付けて必ず50m以上、泳げるようにする。
- 毎朝、家族とともにバランスを考えた食事をつくり、楽しく食べる。
- 祖父母の家にたくさん泊まって手伝いをする。夜は将棋もする。
- 昆虫採集、植物の観察などするため、まだ行っていない所を探検する。
- ダンボールや木材を使って乗物をつくる。
- 物語や伝記の本を10冊は読む。武将のかぶとについて調べる。
- 「なぜ」と思ったことを徹底的に調べる。テーマは未定。

夏休みの間だけでもやってみる。続けてみる。また、今回やったことをきっかけにずっと取り組んでみるなど、子供たち自身で考えたことについて、家族でそのことを認め合い、家族一緒に、あるいは一人でも、さらには友達と一緒になど、方法はいくらかでもあります。まずは、やってみたいことはないか働きかけてみてください。可能な限り、子供がやってみたい、チャレンジしてみたいことに応援、協力してください。きっと成長する姿が見えます。

※ 次ページ：5・6月の活動等の中から、一部写真で紹介します。

令和8年 5・6月 : 活動など **ちょっぴり紹介**



5月25日(月) 学校訪問 (庄原中)



5月31日(日) 国指定重要無形民俗文化財
塩原の大山供養田植



6月6日(土) 体育祭 (総領中)



6月6日(土) 広島県実業団・学生陸上競技選手権大会応援(上野総合公園)



6月7日(日) 体育祭 第1部 (庄原中)



6月9日(火) 体育祭 第2部 (庄原中)



6月11日(木) 校長会 (比和自然科学博物館)



6月11日(木) 学校訪問 (庄原中:英語科授業参観・研修会)



6月13日(土) 庄原市小学校陸上競技記録会 すべての公立小学校から243人参加



6月14日(日)
英語スピーチ大会
小学生の部(19人発表)
中学生の部(16人発表)

中学生の部



6月22日(月) 第184回 市役所ロビーコンサート鑑賞



6月25日(木) 学校訪問 (庄原小) 講師:金藤理絵さん



6月27日(土) レベルアップ水泳教室 43人参加
講師:スポーツ大使 金藤理絵さん 他3人 (西城町「水夢」)

6月28日(日)
睡蓮(スイレン)
(戸郷町)

